



## 引き渡し訓練では、お世話になりました！

1日（水）第5校時より、地震避難訓練→引き渡し訓練を実施いたしました。当日は、事前の通知通り、徒歩で迎えに来るということで、保護者の皆様にとっては大変だったと思いますが、ご理解ご協力を得てお迎えに来ていただきスムーズな引き渡し訓練を行うことができました。誠にありがとうございました。



このところ地震が多く心配しておりますが、桐生市に震度5弱以上の地震が発生した場合には、市内の学校では、お子さんをご家庭に引き渡すことになっております。そのための訓練を昨日実施したわけですが、実際にそのような事態が発生した場合には、電話が繋がらなかったり、メールが届かなかったりする場合も想定されます（実際、東日本大震災のときは、そのような状況に陥りました）。

そこで、万が一大きな地震が発生した場合には、各種情報で震度がいくつであるかをつかんでいただき、もし「震度5弱以上」である場合には、お子さんの引き渡しを行いますので、学校へのお迎えをお願いいたします。

### 地震避難訓練での校長の話

平成28年4月14日夜の9時26分に、大変なことが起きました。何でしょう？

そうです。九州地方に起きた熊本地震です。

建物の下敷きになったり、土砂崩れに巻き込まれたりして亡くなった方は、49人。また、けがをしてしまった方は、1,684人。家が壊れてしまったり、ここにいると危険だと判断したりして学校や大きな公園に避難した人は、183,882人。

今だに車の中や避難所で生活している人がたくさんいる状態です。

このようなことは、遠い場所で起こった、自分とは関係ないことではありません。この桐生市でも、いつこのような大きな地震が起きるかわからないのです。そのために、今日のような避難訓練を真剣に行うことが大切です。

避難訓練を迎えるにあたり、各教室で「お・か・し・も」を勉強したことでしょう。

「お」は？ おさない。 「か」は？ かけない。

「し」は？ しゃべらない。 「も」は？ もどらない。

これらは、教室で勉強しているときに地震が起こって、みんなで避難するときは、とても大切な行動です。でも、地震は教室で起こるとは限りません。校庭で遊んでいて。または、掃除中に。または、学校から帰っている途中に起こることもあるでしょう。そんなときには、この「おかしも」だけでは、足りません。

そのようなときには、「落ち着いて、自分で自分の身を守る力」が一番大事です。それは、上から物が落ちてこないか。近くに倒れるものは無いかをすぐに判断し、安全な場所である校庭や公園・広場などに避難できる力です。

このような、危険から自分を守る力を日頃から少しずつ身に付けていくとよいと思います。

## ◇読書を好きな児童を育む活動

本校では、毎週月曜日の朝、「朝の読書」の時間を設定し、それぞれの学級で自由読書に楽しんでいます。わずか15分の時間なので、じっくり読書を楽しむまでにはいきませんが、自分の好きな本を選び読書をする上で、とても貴重な時間だと思います。

5月30日（月）の朝、4～6年生の図書委員が、「低学年の子どもたちに読み聞かせをしよう」という企画を実施しました。3人1組になり、1年から3年の各教室に向き、読み聞かせを行いました。低学年の子どもたちは、図書委員のお兄さんやお姉さんが読んでくれる絵本に集中。みんな真剣に聴いていました。

この企画は、今後、6月13日、6月27日、7月4日の月曜日の朝にも実施いたします。



## ◇各教室を回って〔3学年編〕



3年生の教室をのぞくと、理科の学習「昆虫の体のつくり」について勉強していました。

3年生は、川内町の自然観察の森に校外学習に出掛け、昆虫について自然観察専門員より詳しく学んだり、学校の畑に植えたキャベツの葉に産み付けたモンシロチョウの卵を観察しながら、幼虫→さなぎ→成虫の育ち方を学習したりしてきました。

この日は、1組ではハチやくモ、アリなどの画像を見せながら、チョウの体のつくりと違うものを考えさせており、2組はチョウの体のつ

くりを学んだ後、実際に卵から育てて成虫になったモンシロチョウを観察させ、学習してきたことを確認させていました。

本校では、昨年度に引き続き「絹文化継承プロジェクト：校旗を作ろうプロジェクト」に参加しております。そして、その中心になって活動してくれているのが3年生です。理科で学習したことを大いに生かしながら、蚕を大事に育てて、11月には素敵な校旗を作り上げるまで頑張ってくれるものと思います。

期待していますよ、3年生！！

